

けんこうニュース

発行所

奥津医院

南足柄市生駒 381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

SARS終息

本年二月より中国を中心に南アジアで猛威を振っていたSARSも七月五日、台湾の感染地指定解除で事実上終息したとなりました。

世界で八四三九人が感染し、八一二人死亡したといわれます。

飛行機を通しての感染が感染拡大に大きく関与したこと、医療者への感染が多かったこと、根本的対策のないことなどから大変恐れ

られました。

病原体のコロナウイルスは冬に感染力を高めるといわれているので今冬に再発生が憂慮される。

当地区にも中国に子会社や生産拠点のある企業もあり渡航者の感染防止に気を付けていました。

県立足柄上病院が対応病院で、多少でも疑いのある患者を検査していましたが、マスク、防護衣を着けたの診療は大変だったということでした。



夏まつり 奥津 直道

足柄上医師会理事会発足

六月二十七日の総会を通して足柄上医師会の理事会が正式に発足しました。

会長 奥津紀一

副会長 石川清弘(石川医院)

荻野哲夫(荻野整形)

外科)

理事 大内忠行(大内病院)

安藤展代(安藤眼科)

杉森忠貫(樹医院)

山口真理子(いずみ耳鼻科)

武田啓介(武田耳鼻科)

橋口 亮(緑蔭診療所)

飛弾康則(飛弾クリニック)

山田純一(町立山北診療所)

鈴木 哲(鈴木医院)

という南足柄市の医師を中心とした布陣となりました。

また、荻野副会長に代表されるよう若いメンバーが多くなり医師会活動の新しい発展が期待されます。

足柄上地区休日急患診療所

二十周年記念式典



最近日曜診療をやる医療機関が増加したので、来院患者が減少し、その上自治体からの補助金も減ってきていますので、経営がむずかしくなっています。

開成町にある、足柄上地区休日急患診療所は、足柄上郡五町の補助金を受けて足柄上医師会が運営しているものですが、本年で二十周年を迎えます。二十周年、特に事故もなく運営されてきました。

湧言飛語



五月より介護保険の介護審査の方法が変更された。

これまで、コンピューターによる判定は機能が十分でないという理由で審査委員の意見で介護度の変更が比較的楽にできた。

これからは十分データに裏付けられた方法がとられるとして、コンピューターによる判定の変更があまりできないことになった。

調査員の調査結果がほぼ前回と同様でも、一段階低い数字が出るものが多い。(政府の政策によるものと思うが、そういう意図はないとのことである)

対象の方は年令が増し、介護は手がかかるようになってきているはずなのに、介護度が低く出た場合審査の委員は何か理由をつけて以前と同じ介護度を保つよう苦労している。

院長